

7/30 第2回 養老町学校のあり方検討委員会議事録

時 間	発 言 内 容 等	備 考
19:00	○開会 ・出席者報告（15／17） ・町民憲章朗唱 ・資料確認	事務局長 進行
19:04	○教育長あいさつ ・お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 第1回目の検討委員会では、お一人お一人から様々な思いをお話しいただきました。大変嬉しく感じました。そのお話は、様々な場面、場所でお伝えさせていただいたところです。これから、養老町の学校のあり方について検討が始まっていくということを少しずつお知らせできていると思います。 本日は、報告として2つ、協議として2つです。まずは行政懇談会の内容の報告です。区長さん方等にお話を聞く機会がありまして、貴重な時間をいただいて説明してきましたので、その報告となります。もう一つは、現在、学校間交流を行ってきているところですが、その交流の様子がどうだったのか、どのような子どもたちの声、姿があったのかということを報告いたします。 そして、本日協議いただきたい一番のポイントは、9月に予定しているシンポジウムについてです。このシンポジウムをどのような内容にしていくかということについて、ご意見をいただきたいと思います。事務局としては考えをもちましたが、それに関わってご示唆をいただければと思います。 もう一つは、私どもも、統廃合した近隣の学校を訪問させていただき、校長先生から情報をいただきながら勉強してきましたので、それについてご報告させていただき、検討していく方向性について、ご提案させていただきたいと思います。 以上です。よろしくお願いいたします。	
19:07	○安田委員長あいさつ ・今回は第2回ということで、皆さま方からまたあらためて色々なご意見をいただきたいと思います。 第1回の検討会の終わりに、委員の方から、本当にこのメンバーで議論ができることをうれしく感じた、という締めくくりの言葉をいただきました。私もその通りだと思います。養老町のこれからの義務教育の9年間について、どのような力を子どもたちにつけていくのか、どのような学校経営をしていくのかという、重大で大切な議論を進めていくということですので、こ	

	の第2回についても、皆さまお一人お一人からご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。	
19:09	【報告事項】 ①行政懇談会について ・事務局長説明	安田委員長 進行
19:15	②学校間交流について ・教育長説明	
19:22	【協議事項】 ○シンポジウムの内容について ・事務局長説明 <質疑応答・意見、感想等> ・園では、他の校区から通っている子がいる。様子がそれぞれ異なるという印象をもったが、大勢で触れ合うことを非常に楽しみにしている子もいた。シンポジウムでも先進的に統合された例が紹介されるが、なぜそうするとよいのかということの理解があった上で進められるとよい。メリット、デメリットを分かった上で議論を進めたい。 事務局回答 ※別紙「A市の先行事例」、「B市の先行事例」より ～委員意見～ ・シンポジウムの先行事例の発表15分の中で、この2つの学校の統合のあり方、進め方等を話していただくとよい。それらのどれが養老町に合うのか、アンケートを実施すると、意見が幅広く集まるのではないかと。 ・シンポジウムは非常に良い。しかし、大人が責任をもって考えることはもちろん大切だが、子どもの声を聞けるとよい。「こどものため」が柱として必要で、柱がひとつできれば、子どもも大人も一致した思いの中で進んでいけると思う。子どもたちが何らかの形で参加できれば、笑顔あふれる未来を描いていけると考える。そういった中で、保護者も真剣に向き合って考えていけるようになると思うが、それらを発信する場として、シンポジウムは有意義だと考える。 ・子ども目線ということを常日頃考えている。本日は、学校間交流で、子どもたちの生の声が聞けたことは良かった。今の時代、様々な価値観の人たちと共存することが求められ、少しずつ広がってきているが、実現は難しいと感じている。ただ、この学校間交流で、他地域の子どもたちと関わることで、新しい視点を身に付けることができたのではないかと。その実績があるから	

こそ、シンポジウムにもその視点を入れていけると良い。そもそも、シンポジウムの開催目的にある望ましい教育環境とは誰が決めるものなのか。子どもたちが望んでいる教育環境とは何なのかということも話し合えると良いと思う。

- ・学校も老朽化が進んでいる。統廃合に進む場合、学校をつくり直すのか、どの学校を使うのか、なども皆さんが気になっていることだと思う。スクールバスの数が足りるのかなども親さん方が心配しているところである。そのような細かいところもアンケートをとっていくと良いのではないかと考える。そうすることで少しずつ不安の解消につながると思う。
- ・今までに経験したことがないことで、分からないことが多い。パネルディスカッションとは具体的に何をするのか。

委員長回答

- ・みなさんが疑問に思っていることを、当日参加いただく校長先生方にも聞いてみたいと考えている。もちろん、委員さんが言われた根本がどこにあるかということも。みなさんの不安や疑問が少しでも解消されるものになればと考えている。

～委員意見～

- ・自分の子どもの学年の数が少なく、今後のことを考えると本当に不安しかない。このままの状態、人数で続くのかなども不透明。このシンポジウムでは、それらの不安や疑問が解消される内容だと開催の意味がある。
- ・保護者から様々な意見を聞くようになった。子どもたちが交流して、これからこうしたい、ああしたい、といういろいろな感情が出てくると思うが、一つ懸念もある。最終着地点として統廃合に一気に話が飛躍していくかもしれないが、地域からは「学校をつぶすな」という声もある。このシンポジウムが、地域の人にこれからの子どもたちのことを考えていくという自線をもってもらい、理解してもらえる会になると良い。
- ・先ほどから不安があるという話があったが、小学校でも今年度から複式学級となっている。当初分からないことが多く、保護者の方も不安がっていた。このシンポジウムでは、先行事例を紹介していただく中で、このようにやってますよ、ということをお話していただき、知っていただくことが大切だと思う。知るだけでも不安がなくなり、そこから意見ももてるのではないかと。地域の方に多く参加してもらえると良い。
- ・二つの事例について、もう少し詳しくお聞きしたい。

事務局回答

- ・A校については、旧町の5つの小学校が一つの小学校となったということ。B校については、市の中のひとつの町の小中学校が一つの義務教育学校となったということ。

～委員意見～

- ・今回シンポジウムで紹介いただく事例は、全て一つの市町が統合されたという事例に見えてしまう。そのことも踏まえて伝えてもらえるとよい。また、子どもの数が減っているということ、資料もいただいたが、さらに人数が減ったら、統合を繰り返すということになってしまうのか。どこかでこれを食い止めなければならないのではないかと。行政としてどんな工夫をされているかお聞きしたい。

町長回答

- ・様々なところでお伝えしているが、今後人口が増えるということとは考えにくい。増えているのは、岐阜の中でも5つの市町だけ。養老町としては、関係人口を増やす取組を行っている。また、いずれ養老の町に帰ってきてくれるように、ふるさと愛を育むということも行っている。ただ、企業誘致については、何とかこれを確保していきたいと考えている。

～委員意見～

- ・今、人口の話が出たが、出生率が上がらない中、現在は限られたパイを奪い合うという状況となっている。ただ、小さい村でも人口を増やしていこうという取組はあって、一旦外には出るけれど、地元に戻ってきたい、そして、子育てをしたいと思えるまちづくりをしている。そして、自分たちが育った学校で、教育を受けさせたいという人たちが育っている。教育を売りにして、その教育で人をひきつけてIターンを生む。というように、教育をセットにして考えるという取組もある。町の魅力を何にするのか、どのように考えていくのか、また、9年間で子どもたちと一緒に町の魅力をつくっていくという考え方にするかで、ずいぶん方向性も変わってくる。
- ・学校では、ふるさと養老教育を進めている。統合されたときに、どのように進めていくのか。地域性もあるので、知らない地域を知ることになっていくか。
スピード感という言葉が出たが、私の地元も20年前から統合に関する話が出ていた。その後、真剣に話し合われたと思うが、そのあたりのことも聞いてみたい。

	シンポジウムについては、どんな学校にしていきたいのか、どんな学校を目指すのか、そのために何をするのか。それが見えてこないと進まない。未来を見据えて考えていくことが一番重要であると感じる。 ・関ヶ原の合宿の件。自分も引率して、子どもたちの充実した顔を今でも覚えている。教員も準備が大変だが、しかし、それ以上に意味があるものだと感じている。友達や先生と出会い、人間関係を築いていく中で、子どもたちには養老町でよかったという思いが育まれていく。 シンポジウムでは、ぜひ現状などを知ってもらって、少しでも不安を解消していくものになるとよい。焦ってはいけない。アンケートも大事である。今後、進めていく第一段階としてのシンポジウムになるとよい。 ・地元のよさは子どもたちがよく知っている。親もそれらをこれまで伝えてきた。交流もやっていただいているが、町全体として考えて進めていけると良い。 シンポジウムについて。統廃合には様々な考え方があったと思う。その中で、どのように進んできたのか。そして、現在どのように進んでいるかが分かるとよい。今の子育て世代と私たちとでは、考え方等が少し異なる部分もあると思う。その方たちの思いを吸い上げて、前に進めていけるとよい。慌てることはないので、これから先のことを考えて、自分の思いをしっかりと子どもたちのために残していけるようにしてほしい。	
20:35	○適正規模・適正配置に関する検討の方向性 ・教育長説明	
20:42	<質疑応答・ご意見> ・シンポジウムのチラシ配布について。できる限り参加してもらいたい。ただ、保護者に配付するだけでなく、一人一人に声かけするなど、工夫して伝えていけるようにしたい。	
20:45	○次回開催日（10月中、下旬の予定） 協議事項確認（アンケート項目について） ○閉会	○事務局長 進行